



上越市議会議員

宮崎朋子 議会通信

ミヤザキトモコ ギカイツウシン

◆議会のポイント

- 新しい上越市政、初の議会は、コロナ対策がメイン
- 本会議を終えて

◆宮崎朋子の 一般質問/委員会質問

◆地域の情報 ～ 人にやさしい公共サービス 他 ～

◆議員活動奮闘記 ～ デジタルは地域を救う?! ～

Vol,7

発行月 2022年1月

所属

- 会派 創風
- 農政建設常任委員会
- 新型コロナウイルス調査対策特別委員会
- 県道新井柿崎線整備促進議員連盟
- 保倉川放水路整備促進議員連盟
- 日韓親善上越市議会議員連盟
- 三和区国県道整備促進期成同盟会
- 桑曽根川・錦川改修促進期成同盟会
- 飯山・牧間県道昇格並びに整備促進期成同盟会
- 防災士議員連盟

地域の農業政策に
取り組みます！

発行者/上越市議会議員 宮崎朋子

表紙の色 「真朱～しんしゅ～」
まそほ、とも呼ばれ混じりけの無い赤。

市民生活の安心
安全のために
尽力します。

解決へむけて
頑張ります！

事務所

〒943-0231
新潟県上越市三和区鴨井471
携帯 090-3545-6087
✉ q8s-3n8h@joetsu.ne.jp
FAX 025-333-0424

動く！しゃべる！動画チャンネル
「B面ともこ」開設しました！

パソコン、携帯、スマホ
からは非ご覧ください。



YouTube B面ともこ

宮崎朋子 議員活動 奮闘記

～デジタルは地域を救う?!～

7年振りにパソコンを変えました。今は、話しかけるとちゃんと使い方を教えてくれます！過疎化が進み、ますます難儀になる地域のことも、新しい技術で解決できる日も近いと感じます。総務省が出している「5G」の動画には、車の自動運転、遠隔医療、ドローン輸送など、地方にこそ必要な「血の通ったデジタル社会」が描かれています。こうしたことにも関心を持って取り組んでいきたいと思う、議員活動2年目の冬です。



活動記録 (11/1～12/31)

- 市内団体行事参加（鉄道まつり、市内文化行事他5回）
- 市内団体会議参加（社協／防災士会他5回）
- 市民要望調査研究（道路、河川、自治、教育等6件）
- 特別委員会傍聴（人口減少調査対策／災害対策）
- 議員連盟研修参加（保倉川放水路議連・保倉川遊水地他管内視察）
- 農議連（農業を取り巻く情勢）
- 上越市議会防災士連盟研修会（災害対策について意見交換会他）
- 個人研修（若者と地域活性／上越地域の砂防対策／コロナ以降の日本／中山間地域のスマート農業とECサイトの展望）
- 調査研究（市内における未病対策／市内温浴施設の課題／市内観光事業他）
- 広報広聴委員会参加（中郷区）
- 議員勉強会1回（これからの行政改革の考え方）
- 議会通信発刊
- 会派勉強会（2回）
- 地域協議会傍聴（三和区／高土地区／頸城区／高田地区）
- 本会議（11月30日～12月17日）
- 農政建設常任委員会
- 一般質問（12月8日）
- 常任委員会傍聴（文経／総務／厚生）
- 個人議会報告（7カ所）



市の避難所用テントを見学



文化行事を見学（三和区）

● 3月議会の予定
3月2日（水）～3月25日（金）
議会傍聴に是非お越しください！

地域の情報

◆人にやさしい公共サービス～おもいやり駐車場の整備～

市役所庁舎内の移動に伴い、正面玄関脇の「おもいやり駐車場」が整備され、屋根が付きまして。車いすの方や妊娠中の方等にも、より利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した駐車場になりました。



雨や雪の日も快適

◆保倉川放水路計画の進捗

国、県、市、地域が一丸となって取り組んできた保倉川の治水対策。ようやく放水路（西側ルート）が示され、この度、保倉川遊水地や放水路建設予定地、河口付近などを視察しました。今後も、地域の安心安全と水害被害の防止に向けて尽力してまいります。



保倉川遊水地付近

◆子ども達の安心安全に向けた道路整備事業

昨冬は、交差点やカーブの道路などで危ない思いをした子ども達も多かったはず。そして、ドライバーも学校付近は特に、注意深い運転が必要です。長年の地元の要望が形になり、歩道も整備され、安心安全な通学路になりました。



下新町上野田線（雄志中学校付近）

◆公立保育園4園が民営化に

令和4年度より民間による運営となります。議会では、保育内容や職員体制等について質疑が出ました。少子化の課題に関わらず、民間の特色ある教育で、子ども達の可能性が、さらに広がることを期待します。



■新しい上越市政、初の議会はコロナ対策がメイン

12月補正額（先行議決分、追加分含む） ①1,425,355,000円
+ ②1,830,094,000円
+ ③1,416,072,000円

補正の内訳

- ① ＊子育て世帯等臨時特別支援事業。（対象は約16000世帯/条件あり）
② ＊コロナ感染防止対策として、市内幼稚園、市立小中学校におけるトイレの手洗い場の自動水栓化工事に必要な経費。
＊コロナ禍における事業者支援策として中小企業者チャレンジ応援事業補助金。（第4次）
＊コロナ禍での消費喚起として、市内飲食店で使用可能なクーポンの作成や宿泊需要喚起事業、商工団体等のプレミアム付商品券発行事業など。
＊ごみ焼却施設管理運営費の運営維持管理委託料の増額。
（昨冬の大雪に伴い排出された枝木の処理費等） ほか
③ ＊①に5万円を追加し、10万円全額を現金で一括支給したことに関する増額分。



12月補正後予算額（一般会計）⇒102,927,130,000円

（詳しくは、広報上越をご覧ください）

本会議を終えて

- 1、議会初日の「総括質疑」では7名が登壇。中川市長の掲げる公約や今後の財政計画、まちづくり等への質疑がなされました。
2、中川市長は、まずは現場や現状をしっかりと見た上で「人事改革プロジェクト」や政策ごとの「副市長4人制」の配置、民間の知見の活用や「通年観光」「ふるさと納税」等にも力を入れていきたいと答弁をされました。
3、また、現行の財政計画や総合計画は、期間終了までこのまま進めたいとのことでした。
4、行政が出した予算に対して、予算を撤回、修正して再提出をすることを求めることを「組替動議」（くみかえどうぎ）と言います。今回は、1議案について、多くの議員から反対意見が出たことにより、コロナ対策費等を含む全予算が否決されることを回避するために組替動議が出され、再提出された予算が可決となりました。

これからも議員一人一人が、全議案に真剣に向き合い議論を重ね、市民のための行政サービス執行に取り組んでまいります！

市民のみならず、特に関係する項目を独自に選んで記載しています。詳しくは、上越市HPをどうぞ→ <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>



宮崎朋子の一問一答

新しい上越市が幕を開けました。この度の議会では、とにかく「言葉を尽くして尽くして」議論することに全神経を集中！
市長のお考え、そして当市の方向性。それを理解し、市民の皆様と共有しながら仕事をしていかなければと考えたからであります。
また、私自身が長年注目してきた「未病」対策についても質疑いたしました。どこへ行っても病気になる、と言われたり、なんとなく調子が悪い、いわゆる病気未満の心身の状態を「未病」と言います。加えて、当市における、ヘルスケア産業の可能性を探りました。



1 市長が考える「通年観光」とは？また「上越観光コンベンション協会」や「観光協会」そして「Jホールディングスグループ」の連携は重要と考えるがどうか？

答 高田や春日山、直江津地区を中心とした歴史や文化をいかした地域資源を更に磨き上げていきたい。通年で観光収入を増やすことは、市民の所得向上にも繋がると考える。そのための街並みづくりを市民と一体となつて進めていきたい。
「上越観光コンベンション協会」や「観光協会」との連携強化はとても重要。また、市の指定管理である温浴・宿泊施設は、平成25年に持ち株会社であるJホールディングス株式会社が設立され、経営健全化に取り組みしてきたが、なかなか進まなかった。私としては事業会社とあわせて、その在り方を整理していきたいと考えている。

2 昨冬の大雪災害を経験した農業、園芸の被災状況は？また、3月議会で質問した農業用BCPの周知はどうか？

答 昨冬の大雪災害では、農業用ハウス等、376棟が倒壊した。市では「冬期間使用しない農業用ハウスは解体する。」「農業用ハウス等の周辺を速やかに除雪できるように、進入路や作業路の除雪をこまめに行う。」「新たに農業用ハウス等を設置する場合は、パイプの径を太くしたり、大雪を想定した設置間隔にしたたりする。」などの周知をしている。

BCPに関しては、「大雪災害のリスクに備えるためのチェックリスト」を市独自に作成し、11月にNOSA I新潟と連携して市内の農業者に配布し、注意喚起を行った。

3 市民の心身の健康を保つため「未病」対策も必要と考える。当市では「漢方外来」や民間事業者もあると聞いている。また、コロナ禍での健康診断の未受診も懸念されるがどうか？加えて当市のヘルスケア産業の可能性は？

答 当市の生活習慣病対策は、いわゆる「未病」への対応を包含するものと認識している。地域においては、保健師がきめ細やかに対応している。
市民の健康診断受診率は、コロナ禍で予約制だったため38%（令和2年度）と少なかったが、今後も受診を勧めたい。
ヘルスケア産業に関しては、JAや保険会社などと情報交換をしている。また、近年は民間によるデジタル診療も進んでいると聞いている。先進的な事業所に当市を選んでもらえるよう取り組んでいきたい。

【農政建設常任委員会】

宮崎の質問（抜粋）

- * 大島農業実習交流センター条例の廃止について
- * 除雪費について（市道除雪にかかる町内会等への報償制度）
- * 上越市営住宅条例の一部改正について（港町特定公共賃貸住宅におけるリニューアル）など